

2019 年度 授業計画(シラバス)

学 科	理学療法士		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	演習
科 目 名	リハビリテーション演習		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	昼間部1年		学期及び曜時限	通年	教室名	
担 当 教 員	河野 孝範	実務経験とその関連資格	理学療法士として急性期病院・クリニック・訪問リハビリテーションの実務経験あり。クリニックにおいて介護支援専門員としての実務経験あり。地域リハを専門としている。			
《授業科目における学習内容》						
<p>対象者に対してマナーを守って、必要なコミュニケーションがとれる。            障がいを持たれた対象者とコミュニケーションをとることで、医療人としての自覚を持つ。            見学実習において、理学療法士の役割を理解し、理学療法士にとって必要な臨床能力を学び、今後の学習の糧とする。</p>						
《成績評価の方法と基準》						
<p>施設実習前後期6回・見学実習3日間の出席評価、課題レポート、見学実習ディリーノート、面接OSCEで評価する。6割以上の得点で合格。</p>						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
(参考図書)リハビリテーションビジュアルブック(学研)						
《授業外における学習方法》						
<p>各施設実習後にグループで振り返りをして、次回実習に生かすように。            学んだこと経験できたことを、レポートやディリーノートに記録する。</p>						
《履修に当たっての留意点》						
各回の施設実習に対してグループで準備を行うこと。見学実習に対して十分準備を行うこと。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第16回	実習形式	授業を通じての到達目標	(施設実習5回目) 高齢者に配慮したコミュニケーションが、更に上手くとれるように。			
		各コマにおける授業予定	前期4回の施設実習の経験を生かして、高齢者とコミュニケーションをとる。			
第17回	実習形式	授業を通じての到達目標	(施設実習6回目) 見学実習対策として検査をスムーズに行う			グループで検査の練習を行う
		各コマにおける授業予定	見学実習での課題である検査の体験を高齢者対象に実施する。			
第18回	実習形式	授業を通じての到達目標	(見学実習1日目) 実習指導者の指導の下、理学療法士の役割を理解する。			
		各コマにおける授業予定	理学療法業務を見学し、一部業務の手伝いを行う。対象者との関わりを経験し現場での対応力を修得する。			
第19回	実習形式	授業を通じての到達目標	(見学実習1日目) 実習指導者の指導の下、理学療法士の役割を理解する。			
		各コマにおける授業予定	理学療法業務を見学し、一部業務の手伝いを行う。対象者との関わりを経験し現場での対応力を修得する。			
第20回	実習形式	授業を通じての到達目標	(見学実習1日目) 実習指導者の指導の下、理学療法士の役割を理解する。			
		各コマにおける授業予定	理学療法業務を見学し、一部業務の手伝いを行う。対象者との関わりを経験し現場での対応力を修得する。			

授業の方法		内 容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第21回	実習形式	授業を通じての到達目標 (見学実習1日目) 実習指導者の指導の下、理学療法士の役割を理解する。		
		各コマにおける授業予定 理学療法業務を見学し、一部業務の手伝いを行う。対象者との関わりを経験し現場での対応力を修得する。		
第22回	実習形式	授業を通じての到達目標 (見学実習2日目) 実習指導者の指導の下、理学療法士の役割を理解する。		
		各コマにおける授業予定 理学療法業務を見学し、一部業務の手伝いを行う。対象者との関わりを経験し現場での対応力を修得する。		
第23回	実習形式	授業を通じての到達目標 (見学実習2日目) 実習指導者の指導の下、理学療法士の役割を理解する。		
		各コマにおける授業予定 理学療法業務を見学し、一部業務の手伝いを行う。対象者との関わりを経験し現場での対応力を修得する。		
第24回	実習形式	授業を通じての到達目標 (見学実習2日目) 実習指導者の指導の下、理学療法士の役割を理解する。		
		各コマにおける授業予定 理学療法業務を見学し、一部業務の手伝いを行う。対象者との関わりを経験し現場での対応力を修得する。		
第25回	実習形式	授業を通じての到達目標 (見学実習2日目) 実習指導者の指導の下、理学療法士の役割を理解する。		
		各コマにおける授業予定 理学療法業務を見学し、一部業務の手伝いを行う。対象者との関わりを経験し現場での対応力を修得する。		
第26回	実習形式	授業を通じての到達目標 (見学実習3日目) 実習指導者の指導の下、理学療法士の役割を理解する。		
		各コマにおける授業予定 理学療法業務を見学し、一部業務の手伝いを行う。対象者との関わりを経験し現場での対応力を修得する。		
第27回	実習形式	授業を通じての到達目標 (見学実習3日目) 実習指導者の指導の下、理学療法士の役割を理解する。		
		各コマにおける授業予定 理学療法業務を見学し、一部業務の手伝いを行う。対象者との関わりを経験し現場での対応力を修得する。		
第28回	実習形式	授業を通じての到達目標 (見学実習3日目) 実習指導者の指導の下、理学療法士の役割を理解する。		
		各コマにおける授業予定 理学療法業務を見学し、一部業務の手伝いを行う。対象者との関わりを経験し現場での対応力を修得する。		
第29回	実習形式	授業を通じての到達目標 (見学実習3日目) 実習指導者の指導の下、理学療法士の役割を理解する。		
		各コマにおける授業予定 理学療法業務を見学し、一部業務の手伝いを行う。対象者との関わりを経験し現場での対応力を修得する。		
第30回	演習形式	授業を通じての到達目標 (実習報告会) 実習で学んだ事柄を報告会でわかりやすく発表する。		
		各コマにおける授業予定 パワーポイントにてプレゼンテーション能力を養う。		